

猛暑と残暑 (2012.9.10)

猛暑と残暑、今年の夏は6・7・8月の三ヶ月間、休みなく続いたようです。

「今日も暑いね。どうしました？」の決まりきった言葉が繰り返され、親しい間柄ではやや自嘲気味に、「これ以外に言葉が無いよ！」まるでオウムにでもなったかの様でした。

連日の冷房フル稼働のもとでの診察は、肩や下腿の筋肉痛を呼び起こし、つらいものでした。温体動物である人間には、冷やし過ぎはコタエルものなのですね。

全国的に熱中症で搬送される特に高齢者が多かったとの報道も沢山ありました。

いずれにしろ、極端な自然界の現象、豪雪と遅い雪解け、酷暑や局地的な豪雨と竜巻などの発生等々、少なくとも日本人にとっては珍しい事として扱われたものが、普通の生活に入りつつあることが確実で、まずもって大きな変化その物でしょう。

秋は、収穫です。

様々な作物が、異常気象にもめげずに、農家の方々の一生懸命の作業により喜びとなって、もたらされるのです。

夏のスイカを満載したトラックと秋のコメを載せたトラック、どちらを取る？と問われれば、尾花沢とすればスイカと言いたいところですが、気持ち的には、『米を満載に・・・』の方に軍配を揚げざるを得ません。両方に揚げれば良い訳かな？

当院のアルカデアの機器もかなりの年月になり、治療効果も鈍くなっているようです。

近々新しいものを設置することにしました。

体を温めるエンブレースや、ローラーなどとリンクはできませんが、単独の機器としてその効きめは、利用される方々に必ずや満足していただけるものと思われま。

ゆったりとした気分の中で、身体のリフレッシュにご利用下さい。乞うご期待！！

上手に残暑を乗り切りましょう。